

# 船舶事故調査報告書

平成29年9月21日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成28年10月10日 08時30分ごろ
発生場所	岡山県瀬戸内市黄島北方沖 備前黄島灯台から真方位335° 980m付近 (概位 北緯34° 36.3′ 東経134° 11.6′)
事故の概要	プレジャーボート幸山丸は、西進中、また、プレジャーボート目黒丸は、漂流中、両船が衝突した。
事故調査の経過	平成28年11月16日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A プレジャーボート 幸山丸、3.3トン OY3-24501（漁船登録番号）、個人所有 第271-33656号（船舶検査済票の番号） B プレジャーボート 目黒丸、5トン未満（長さ6.34m） 281-30153岡山、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、一級小型・特殊・特定 B 船長B、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	A 右舷船首部外板に擦過傷を伴う凹損 B 右舷船首部ガイドローラーに擦過傷等
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北、風力 2～3、視界 良好 海象：波高 約0.5m
事故の経過	A 船は、船長Aが1人で乗り組み、潮上りの目的で西方に向けて発進して約200m航行した後、船長Aが、釣り道具を甲板に置こうとしたとき、船首方から大声が聞こえたので顔を上げたところ、B船が船首方至近にいるのを認め、機関を後進としたが、B船と衝突した。 B船は、船長Bが1人で乗り組み、釣りを行いながら漂流中、船長Bが接近するA船に向かって大声で呼び掛けたが、A船と衝突した。
分析	A 船は、発進する際、船長Aが、船首方の見張りを適切に行っていなかったことから、前路で漂流中のB船に気付かず、B船と衝突したものと考えられる。 B船は、釣りをしながら漂流中、A船と衝突したものと考えられるが、船長Bから情報が得られなかったため、衝突に至った状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、A船が西進中、B船が漂流中、両船が衝突したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考え

	<p>られる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 常時適切な見張りを行うこと。</li></ul>
--	--